

「いっしょにあそぼう Part ～ どうしたの？ ～」

【パッケージ名】

「ともだちが すきになるまほう」

【パッケージの流れ】

- 第1時 「ともだちがすきになるまほう ～ほめほめじゃいけん～」
第2時 「ともだちがもっとすきになるまほう～ぴったんこじゃいけん～」
第3時(本時) 「ともだちがもっともっとすきになるまほう」
いっしょにあそぼう ～どうしたの～ (スキル学習)

【本時のターゲットスキル】

- ・対人関係(友だちとの望ましい関わり方)
- ・コミュニケーション力(相手のことを考えて話す)

【流れ】

	時間	活動の流れ(指導者の教示・子どもの反応と行動)	留意点
ウォーミングアップ	5分	4つの「あい」を思い出す。 愛 I 「自分もたいせつにする」 相手「相手もたいせつにする」 合い「支え合い 助け合い」 あいあいの歌「ぴったんこ」を歌う。	みんなが仲良くなる時間であることを確認する 心をほぐすように心がける。
インストラクション	15分	「あいあい遊び」で困っていることをあいあい魔女に相談しよう。(2組からの手紙) <u>遊びが決まったのに遊びに入らない子がいる。</u> モデリングを見る。 悪いモデリングを見て、1つずつみんなと魔女で考え、良いモデリングにしていく。 モデリング1 困っている子をほうっていく。 (子ども達の反応) ・ほうっていったらだめ 魔女からもらった「あいあいハート」を使う。 モデリング2 近づいて、無理やり連れて行くとする。 (子ども達の反応) ・無理やりは、だめ ・えがおで言わないとだめ	あいあい魔女を登場させ授業に意欲をもたせる。 教師2人と子どもたちで班遊びを再現する。 教師2人でモデリングをする。 魔女と子どもたちで考えていく。 <スキル> 1. 近づく 2. 顔を見る 3. えがおで 4. 聞こえる声で言う

インストラクション		・顔を見て、「いっしょに遊ぼう」という。 モデリング3 近づいて「いっしょに遊ぼう」というが、動かない。 (子どもの反応) 「どうしたの」と相手の気持ちを聞くことに気づく。 ・遊ばない理由を聞いてあげたらいい。 モデリング4 近づいて、顔を見て、笑顔で聞こえる声で「どうしたの」と聞く。 遊びたくない理由を言う。 自分が出来ること伝え、相手の同意を求めて一緒に遊びに行く。 4つのスキルをつかったモデリング 教師と子ども 子どもと子ども	「どうしたの」
エクササイズ	15分	2人組みになって、やってみる。 「どうしたの」と聞く子は、あいあいハートをつける。 役割を交代してやってみる。 2人組でやるときに困ったら、魔女を呼ぶ	ふざけないことを約束させる。 机間巡視をして、困っている2人組がいたら声をかける。
シェアリング	10分	感想を話し合い、ふりかえりカードに記入する。 感想を発表する。 「いっしょに遊ぼう月間(あいあい遊び)」に意欲的に取り組もうという気持ちを持つ。 あいあい魔女から、ミニミニあいあいハートをもらう。 あいあい魔女と「さよなら」をする。	ふりかえりカード
参考文献 「エンカウンターで 道徳 小学校低学年編」 明治図書 「ソーシャルスキル教育で子どもが変わる 小学校」 図書文化			